



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 株式会社カカコム

上場取引所 東

コード番号 2371 URL <https://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 敦浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上級執行役員CFO (氏名) 粕谷 進一 TEL 03-5725-4554

半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	36,363	15.7	14,034	24.2	14,093	22.4	9,564	20.6	9,590	21.1	9,564	20.0
2024年3月期中間期	31,435	11.3	11,299	3.6	11,516	1.6	7,930	△1.7	7,916	△1.7	7,970	△2.5

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	48.52	48.48
2024年3月期中間期	39.36	39.33

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	94,008	56,751	56,466	60.1
2024年3月期	83,308	51,691	51,380	61.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	10.6	28,500	10.4	28,400	8.7	19,400	7.2	98.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	198,218,300株	2024年3月期	198,218,300株
2025年3月期中間期	486,331株	2024年3月期	651,327株
2025年3月期中間期	197,644,987株	2024年3月期中間期	201,104,265株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書	7
(3) 要約中間連結包括利益計算書	8
(4) 要約中間連結持分変動計算書	9
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15
(減損損失)	17
(重要な後発事象)	17

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の経営成績は、次のとおりであります。

売上収益は36,363百万円(前年同期比15.7%増)となりました。これは主として、経済活動の正常化が進む中で、価格.com事業、食ベログ事業、求人ボックス事業、及びインキュベーション事業の旅行・移動領域において売上が増加したことによるものであります。

営業利益は14,034百万円(前年同期比24.2%増)となりました。これは主として売上収益が増加したこと、並びに外注費及び人件費が減少したことによるものであります。

税引前中間利益は14,093百万円(前年同期比22.4%増)となりました。これは主として営業利益の増加によるものであります。

親会社の所有者に帰属する中間利益は9,590百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

セグメントの業績(※1)(内部取引消去後)は、次のとおりであります。

① 価格.com事業

当中間連結会計期間の価格.com事業の売上収益は11,191百万円(前年同期比8.8%増)、セグメント利益は5,074百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

ショッピング事業は、新製品の減少、為替の変動による製品の値上がり、コロナ初期に生じた需要前倒しなどの影響は収束に近づきました。サービス事業は、金融及び通信の各領域におけるマーケティングが好調に進捗しました。広告事業は、事業環境に大きな変化がみられないものの、出稿の減少は収束に近づきつつあります。保険事業は、火災保険を中心に申込件数が増加しました。

その結果、ショッピング事業の売上収益は3,655百万円(前年同期比0.1%減)、サービス事業の売上収益は4,769百万円(前年同期比18.5%増)、広告事業の売上収益は1,249百万円(前年同期比3.9%減)、保険事業の売上収益は1,518百万円(前年同期比17.1%増)となりました。

また、連結子会社である株Patheeの事業に関連する主に無形資産及びのれんについて、価格.comセグメントにおいて、減損損失588百万円を計上しました(※2)。

2024年9月度の月間利用者数(※3)は3,734万人となりました。

② 食ベログ事業

当中間連結会計期間の食ベログ事業の売上収益は15,661百万円(前年同期比20.1%増)、セグメント利益は8,791百万円(前年同期比31.7%増)となりました。

食ベログ事業の主な内訳は次のとおりであります。

飲食店広告事業(※4)の売上収益は7,008百万円(前年同期比12.1%増)、飲食店予約事業(※4)の売上収益は6,933百万円(前年同期比32.0%増)となりました。外食需要が着実に高まっていることから、ネット予約人数は当中間連結会計期間において4,771万人(前年同期比30.5%増)となりました。また、飲食店におけるネット予約サービスの利用店舗が増加したことにより有料プラン契約店舗数は9月末日時点において82,200店舗となりました。

ユーザー会員事業は、有料サービス加入者数の増加により売上収益が793百万円(前年同期比5.2%増)となりました。広告事業の売上収益は897百万円(前年同期比16.1%増)となりました。

2024年9月度の月間利用者数(※3)は9,202万人となりました。

③ 求人ボックス事業

当中間連結会計期間の求人ボックス事業の売上収益は5,667百万円(前年同期比33.4%増)、セグメント利益は2,463百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

求人ボックス事業は、月間利用者数及び広告求人のクリック数などが増加しました。

2024年9月度の月間利用者数(※3)は1,052万人となりました。

④ インキュベーション事業

当中間連結会計期間のインキュベーション事業の売上収益は3,843百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益は879百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

不動産及び旅行・移動の各領域における売上が増加した一方で、ライフスタイル・エンタメ領域の売上が減少しました。

- ※1 当社グループ4事業(価格.com事業、食べログ事業、求人ボックス事業、インキュベーション事業)の提供価値を高め、事業成長を創り上げるべく2024年4月1日付で組織変更を実施しましたことに伴い、当連結会計年度よりセグメントを変更することとしました。変更の概要については、「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。
- ※2 価格.com事業セグメントに計上した減損損失の詳細については、「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項(減損損失)」に記載しております。
- ※3 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた利用者数です(特定のブラウザ、OS等によっては一定期間経過後に再訪した利用者を重複計測する場合があります)。モバイル端末のウェブページ高速表示に伴う利用者数の重複や、第三者による自動収集プログラムなどの機械的なアクセスについては可能な限り排除して計測しています。なお、食べログにおいては、2022年2月をもってAMP(Accelerated Mobile Pages)対応を終了いたしました。
- ※4 従前、食べログ事業の内訳を「飲食店販促事業」「ユーザー会員事業」「広告事業」「その他」の4区分としていたところ、当連結会計年度より「飲食店広告事業」「飲食店予約事業」「ユーザー会員事業」「広告事業」及び「その他」の5区分に変更することとしました。なお、飲食店広告事業は従前の飲食店販促事業における「PRサービス」に、飲食店予約事業は従前の飲食店販促事業における「ネット予約サービス」に相当します。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は94,008百万円となり、前連結会計年度末と比較し10,700百万円増加いたしました。これは主に、現金及び現金同等物が7,212百万円、その他の流動資産が4,127百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は37,257百万円となり、前連結会計年度末と比較し5,640百万円増加いたしました。これは主に、その他の流動負債が5,250百万円増加したことによるものであります。

(資本)

資本合計は56,751百万円となり、前連結会計年度末と比較し5,060百万円増加いたしました。これは主に、親会社の所有者に帰属する中間利益9,590百万円を計上した一方で、剰余金の配当4,544百万円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ7,212百万円増加し、44,913百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13,951百万円(前年同期は7,272百万円の収入)となりました。

これは主に、税引前中間利益14,093百万円、その他の流動負債の増加5,250百万円があった一方で、法人所得税の支払額4,207百万円、その他の流動資産の増加4,127百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は1,403百万円(前年同期は1,028百万円の支出)となりました。

これは主に、無形資産の取得による支出1,050百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は5,317百万円(前年同期は4,794百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払による支出4,544百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	37,702	44,913
営業債権及びその他の債権	11,808	11,727
その他の金融資産	442	415
その他の流動資産	10,435	14,562
小計	60,386	71,617
売却目的で保有する資産	305	—
流動資産合計	60,692	71,617
非流動資産		
有形固定資産	2,101	2,051
使用権資産	5,372	5,172
のれん及び無形資産	7,454	7,021
持分法で会計処理されている投資	33	20
その他の金融資産	6,220	6,684
繰延税金資産	1,342	1,361
その他の非流動資産	95	81
非流動資産合計	22,617	22,390
資産合計	83,308	94,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,189	4,539
社債及び借入金	121	91
その他の金融負債	628	586
未払法人所得税	4,273	4,566
リース負債	1,221	1,309
従業員給付に係る負債	2,235	2,283
その他の流動負債	14,104	19,354
流動負債合計	26,772	32,728
非流動負債		
社債及び借入金	134	121
リース負債	3,700	3,441
引当金	542	539
その他の非流動負債	469	429
非流動負債合計	4,845	4,530
負債合計	31,617	37,257
資本		
資本金	916	916
資本剰余金	78	51
利益剰余金	51,186	56,226
自己株式	△1,175	△877
その他の資本の構成要素	376	151
親会社の所有者に帰属する持分合計	51,380	56,466
非支配持分	311	285
資本合計	51,691	56,751
負債及び資本合計	83,308	94,008

(2) 要約中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	31,435	36,363
営業費用	20,207	21,738
その他の収益	75	4
その他の費用	5	7
減損損失	—	588
営業利益	11,299	14,034
金融収益	219	98
金融費用	14	26
持分法による投資損益	12	△13
税引前中間利益	11,516	14,093
法人所得税費用	3,585	4,529
中間利益	7,930	9,564
中間利益の帰属		
親会社の所有者	7,916	9,590
非支配持分	15	△26
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	39.36	48.52
希薄化後1株当たり中間利益(円)	39.33	48.48

(3) 要約中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	7,930	9,564
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	35	3
純損益に振り替えられることのない項目合計	35	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5	△3
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	0	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5	△3
その他の包括利益(税効果控除後)	40	0
中間包括利益	7,970	9,564
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,955	9,590
非支配持分	15	△26

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	64	48,136	△1,596
中間利益	—	—	7,916	—
その他の 包括利益	—	—	—	—
中間包括利益合計	—	—	7,916	—
剰余金の配当	—	—	△4,022	—
自己株式の 取得及び処分	—	—	0	3
株式報酬取引	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	3	—	—
その他	—	△0	—	—
所有者との取引額合 計	—	3	△4,022	3
期末残高	916	67	52,030	△1,592

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	その他の資本の構成要素合計			
期首残高	△44	△13	△6	424	360	47,881	284	48,165
中間利益	—	—	—	—	—	7,916	15	7,930
その他の包括利益	35	5	0	—	40	40	0	40
中間包括利益合計	35	5	0	—	40	7,955	15	7,970
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△4,022	—	△4,022
自己株式の取得及び処分	—	—	—	△1	△1	3	—	3
株式報酬取引	—	—	—	34	34	34	—	34
新株予約権の失効	—	—	—	△3	△3	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額合計	—	—	—	31	31	△3,985	—	△3,985
期末残高	△9	△8	△6	455	431	51,852	299	52,150

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	78	51,186	△1,175
中間利益	—	—	9,590	—
その他の 包括利益	—	—	—	—
中間包括利益合計	—	—	9,590	—
剰余金の配当	—	—	△4,544	—
自己株式の 取得及び処分	—	△53	—	298
株式報酬取引	—	26	—	—
その他	—	—	△6	—
所有者との取引額合 計	—	△27	△4,550	298
期末残高	916	51	56,226	△877

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素							
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	その他の資本の構成要素合計			
期首残高	△57	△8	△6	446	376	51,380	311	51,691
中間利益	—	—	—	—	—	9,590	△26	9,564
その他の包括利益	3	△3	—	—	0	0	△0	0
中間包括利益合計	3	△3	—	—	0	9,590	△26	9,564
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△4,544	—	△4,544
自己株式の取得及び処分	—	—	—	△245	△245	0	—	0
株式報酬取引	—	—	—	14	14	40	—	40
その他	—	—	6	—	6	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	6	△231	△226	△4,504	—	△4,504
期末残高	△54	△11	—	215	151	56,466	285	56,751

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	11,516	14,093
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	1,869	1,923
減損損失	—	588
受取利息及び受取配当金	△6	△5
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△494	81
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	152	398
その他の金融負債の増減 (△は減少)	△1,418	△43
その他の流動資産の増減 (△は増加)	△3,542	△4,127
その他の流動負債の増減 (△は減少)	3,957	5,250
その他	△81	8
小計	11,953	18,166
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△16	△13
法人所得税の支払額	△4,671	△4,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,272	13,951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145	△276
無形資産の取得による支出	△849	△1,050
投資有価証券の取得による支出	△47	△315
投資有価証券の売却による収入	—	312
投資事業組合等の分配収入	—	44
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△130	—
関連会社株式の売却による収入	194	—
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△119
その他	△40	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,028	△1,403

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30	△30
長期借入金の返済による支出	△24	△12
リース負債の返済による支出	△716	△722
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払による支出	△4,020	△4,544
ストック・オプションの行使による収入	0	0
その他	△4	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,794	△5,317
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	22	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,472	7,212
現金及び現金同等物の期首残高	36,453	37,702
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,924	44,913

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、サービス別に事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、取り扱うサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「価格.com事業」、「食べログ事業」、「求人ボックス事業」、「インキュベーション事業」の4つを報告セグメントとしております。

「価格.com事業」は、購買支援サイト『価格.com』、連結子会社㈱カカコム・インシュアランスによる保険代理店業務等、連結子会社㈱Patheeの小売店向けのデジタル販促ツール『STORECAST』を展開しております。「食べログ事業」は、レストラン検索・予約サイト『食べログ』を展開しております。「求人ボックス事業」は、求人情報の一括検索サイト『求人ボックス』、連結子会社JOBcube, INC. 運営の求人情報の一括検索サイト『Jobcube』を展開しております。「インキュベーション事業」は、不動産住宅情報サイト『スマイティ』、旅行のクチコミサイト『フォートラベル』、連結子会社㈱エイガ・ドット・コム運営の総合映画情報サイト『映画.com』、連結子会社㈱webCG運営の自動車専門サイト『webCG』、連結子会社㈱タイムデザインのダイナミックパッケージシステムの開発事業、連結子会社㈱LCL運営サイト『バス比較なび』を展開しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間より組織変更を契機に、マネジメント・アプローチの観点から、現状の組織体制と情報を開示するセグメント区分を一致させるため、報告セグメントを従来の「インターネット・メディア事業」及び「ファイナンス事業」の2区分から、「価格.com事業」、「食べログ事業」、「求人ボックス事業」、「インキュベーション事業」の4区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、従来営業利益をセグメント利益としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更に合わせて業績をより適切に評価するため、セグメント利益の調整額に、各報告セグメントに帰属しない全社費用等を計上する方法に変更いたしました。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法により作成したものを記載しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりであります。なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益及び利益または損失の金額に関する情報
前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	要約中間連 結財務諸表 計上額
	価格.com 事業	食ベログ 事業	求人ボックス 事業	インキューベ ーション事業	計		
売上収益							
外部収益	10,283	13,036	4,250	3,866	31,435	—	31,435
セグメント間収益	—	—	—	22	22	△22	—
計	10,283	13,036	4,250	3,888	31,457	△22	31,435
セグメント利益(注) 2	5,132	6,677	2,207	783	14,799	△3,500	11,299
金融収益							219
金融費用							14
持分法による投資損益							12
税引前中間利益							11,516

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,500百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,500百万円及びセグメント間取引の消去等△0百万円が含まれております。

(注) 2 セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	要約中間連 結財務諸表 計上額
	価格.com 事業	食ベログ 事業	求人ボックス 事業	インキューベ ーション事業	計		
売上収益							
外部収益	11,191	15,661	5,667	3,843	36,363	—	36,363
セグメント間収益	—	—	—	40	40	△40	—
計	11,191	15,661	5,667	3,883	36,403	△40	36,363
セグメント利益 (注) 2, 3	5,074	8,791	2,463	879	17,208	△3,174	14,034
金融収益							98
金融費用							26
持分法による投資損益							△13
税引前中間利益							14,093

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,174百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,174百万円及びセグメント間取引の消去等△0百万円が含まれております。

(注) 2 セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注) 3 価格.com事業セグメントにて、減損損失588百万円を計上しておりますが、詳細は「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項(減損損失)」に記載のとおりです。

(減損損失)

当中間連結会計期間において、買収時に想定をしていた連結子会社㈱Patheeの早期黒字化という当初の目的を達成することが困難であることが判明し、見直し後の事業計画に基づいて回収可能価額まで減損損失を認識した結果、価格.com事業セグメントにて、同社の事業に関連する主に無形資産及びのれんについて、減損損失588百万円(内、技術関連資産140百万円、のれん446百万円、その他2百万円)を計上いたしました。

なお、回収可能価額は使用価値に基づいており、その価値を零としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。